

奉納 八番山笠 上川端通

標題 表

人形師 田中比呂志

軍師官兵衛

織田信長が褒め称え、豊臣秀吉が頼りにし、徳川家康が恐れた戦国最強の軍師黒田官兵衛。如水と号して水の如くしなやかに生きあくまで信義を貫き通したその姿に敵さえも信頼を抱いたという。秀吉は官兵衛に九州征伐を命じ根白坂の戦いで島津義久を撃退した。

詳細

黒田官兵衛(黒田孝高・出家後に黒田如水)は天文十五年十一月二十九日に黒田職隆の嫡男として播磨国の姫路で生まれた。

戦場では常に合子形の兜(朱塗合子形兜)を着けていた官兵衛は赤合子と敵に恐れられていた。豊臣秀吉は近臣相手に『自分の死後、天下を取るのには官兵衛だ、あの者の智略をもつてすればわしから天下を奪うのもたやすい』と語った。又官兵衛は『地方主権の思想』を持っており中央集権を理解しつつ地方に住む民がいかに住みやすくなるかを常に考えていたとされる。

福岡には黒田家、福岡城にゆかりのある場所がたくさんあり是非ご興味をお持ちいただければ幸いです。

詳しくは

上川端商店街

検索

平成二十五年七月吉日

八番山笠 上川端通

総務 正木 研次

豊臣秀吉

黒田官兵衛



島津義久